



岩谷真海 議員

25年度当初予算の特色を問う

まず、前定例会一般質問「18歳以下医療費無料化」を早速予算化して頂き御礼申し上げます。さて、25年度当初予算の特色は何か。

町長

町民の安全・安心を第一に進める、必ずやる実行予算とした。安心部分で、池野駅北の医療ゾーン整備と駅駐車場の確保、池野・杉野線交差点改良、防災メール配信、安定ヨウ素剤の備蓄、踏み台付きコミュニティバスを一台増やしお年寄りの利便性をはかる等。子育て支援では、18歳以下医療無料化。安全部分では、教育環境、特に耐震補強を前倒しで進める。観光部分では、西美濃夢源回廊を進める。その実行予算である。

町人口増と定住化の施策を問う

町長

町の人口増を前提で5次総合計画を策定した。今年は人口減となり、更なる定住化の施策が必要と考える。特に施策の遅れている東地区の開発、定住化の方策が必要ではないか。

町長

全国的に人口の減少化が進んでいる。当町は企業の海外進出等の影響で多少の減となっている。施策として、学童保育、病児・病後児保育等の子育て支援、企業誘致も順調で人口が増加してきた。今後も企業誘致等はもちろんの事、18歳以下医療費無料化、医療モールの充実、養老鉄道

の継続、コミュニティバスの

確保等住民福祉の向上につとめ、子供を安心して生み、育てられる地域づくり、住んで良かったと思う町づくりの施策を行っていく。東地区については東幹線西側歩道も継続的に進め、農地転用も緩和して住宅や企業の誘致も進めたい。

町民の安全で安心のまちづくりを問う

町長

防災・減災という観点で、地域の見守り隊の強化、自主防災組織の実用化、災害マニュアル等の見直しが必要ではないか。

町長

個人情報保護法の制約の中で、要支援の人の支援、救助ができるよう社会福祉協議会、各団体と連携し、台帳等のデータ化を行う。自主防災組織については、備蓄も含め、

代表の方と連携、協力し、指

導にもつとめて行きたい。また、法の範囲内で、情報は公開し、提供できるようにしたい。